



～もうすぐ年末年始です～
無事故で新しい年を迎えましょう！



年末から年度末にかけては、現場が慌ただしくなることが多く、注意力が散漫となるなど工事事故の発生が増加する傾向にあります。

例えば、バックホウがアームを上げたまま走行して架空線や添架物に接触、重機操作時に後方確認を怠り作業員と接触など、ひとつ間違えると大きな事故に繋がりがねません。

また、現場が片付いていなかったり、出入口の施錠があまい等、盗難防止の対策が不十分で重機や資材等が盗難にあうこともあります。

特に年末年始は工事現場を長期間閉鎖し、現場に人がいなくなるので、以下のことを確実にを行うようにしましょう。

- 工事区域内への**第三者（特に子供）の侵入防止のため**、バリケード、看板等の安全設備の充実を図り、**立ち入り禁止区域を明確にしましょう。**
- 現場内の資材の整理整頓、飛散防止、可燃物の片付け、**出入口の施錠を確実にいきましょう。**

交通量の多い市街地の車道に面した出入口の施錠の事例

- 交通量の多い市街地道路に面した出入口を、バリケードと門扉により二重に厳重に封鎖。
 - ・ 工事に関係ない人や車両の進入を確実に防ぎます。
 - ・ 通行する車両に対して、工事現場であること、進入はできないことをしっかりと明示することができます。
 - ・ 管理がしっかりしているという印象を与られます。



足場階段の出入口から工事現場への侵入防止の事例

- 工事現場内の出入口を厳重に施錠。
 - ・ わかりやすいよう、扉に進入禁止のステッカーを貼付。
 - ・ ステッカーは、子供にも分かりやすいように、イラストと、ひらがなで記載し、強調したい部分を赤で表現しています。



資材や重機の盗難防止の事例

過去には、バリケードとチェーンによる封鎖を行っていた現場で、チェーンが切断され、バックホーエンジンルーム内油圧ポンプが盗難被害にあいました。

- ① エンジンルーム内に等辺山形鋼を取付。
- ② エンジンルームが開けられないようバックホー 2 台を並列駐車。



～より安全を高めるために～ パトロールの実施

- 工事現場を長期間閉鎖する場合は、定期的に現場の見回り、点検を行うことも効果的です。
- Webカメラを導入して、会社などから遠隔での監視も有効です。
- 万が一、何か変わった事があった場合の緊急連絡系統を確認しておきましょう。



安全のススメ

KY活動の実施で徹底した安全確保を！

KY活動とは

建設現場では安全を確保するために、様々な活動が行われています。そのひとつがKY活動です。KY活動とは、危険（Kiken）予知（Yochi）の頭文字をとったもので、現場における安全衛生の基本です。

KY活動の目的

KY活動を行う目的・効果には、以下のようなものがあります。

- ・ **危険への感受性を鋭くする。**
- ・ **安全作業への集中力を高める。**
- ・ **問題解決能力を向上させる。**
- ・ **作業者自身が気づき、実践する意欲を高める。**
- ・ **安全意識の高い職場風土をつくる。**

リスクアセスメントとKY活動について

- ・ 平成18年4月より、労働安全衛生法に**リスクアセスメントの実施が努力義務規定**として設けられ、事業者による危険性又は有害性等の調査の実施とその結果に基づき必要な措置を講じることが定められました。
- ・ リスクアセスメントは新しい取り組みではなく、KY活動やヒヤリハットなどの延長線上にあります。そのため、建設業労働災害防止協会（建災防）等においては、「リスクアセスメント方式を組み入れたKY活動」の実施の普及に努めています。

KY活動の方法

KY活動には、**KYKとKYTの2種類**があります。**状況にあわせて効果的な方法で実践**することが必要です。

KYK（危険予知活動）

Kiken Yochi Katudouの頭文字をとったもの。

作業直前に現場小グループあるいは、作業者ひとりひとりが、その日の作業で発生しそうな事故を想定し、対策を講じて事故や災害を防止する活動。



KYT（危険予知訓練）

Kiken Yochi Trainingの頭文字をとったもの。

災害事例等のイラスト等を使って、グループで話し合って危険箇所や危険行動を見つけ、その対策を考え、確認する**事前訓練**。



KY活動の実践

- ・ KY活動の代表的な方法は、4ラウンド法、指差し呼称、指差し唱和等があります。また、チーム単位で行う「現地KY」、ひとりで行う「1人KY」等、実践の単位も様々あります。
- ・ KY活動には「これが正解」というものではありません。**様々な人の意見や視点を共有し、自分のこととしてとらえ、関係者が一丸となって取り組むことが大切です。**
- ・ 同じ意見や似ているアイデアであっても、**気軽にドンドン発言**できるような雰囲気をつくりましょう。
- ・ 話すことが苦手な人や、発言のタイミングをつかむのが苦手な人もいますので、**時にはリーダーが発言を促す**ようにしましょう。
- ・ KY活動の直後は、安全意識が高まりますが、時間が過ぎるごとに意識は薄れてきます。一定期間が過ぎた後に、「行動目標や対策は効果的だったか？」等の**振り返りを行うようにしましょう**。振り返りを行うことで、対策や目標を向上させるとともに、安全意識も高めることができます。



工事現場の事故防止へ、より一層の意識向上を図る ～安全協議会を開催しています～

今月も近畿地方整備局管内の各地で安全協議会が開催されます。工事全般における『安全』について考える良い機会ですので、奮ってご参加ください。

- ◆ 姫路河川国道事務所工事安全講習会 12月13日（金）13:30～ 姫路労働会館 多目的ホール
- ◆ 六甲砂防事務所工事安全協議会 12月18日（水）13:30～ 東灘区民センター 8階会議室1
- ◆ 淀川・淀統・猪名川・近技合同後期労働安全講習会 12月19日（木）14:00～ 枚方市立地域活性化支援センター
- ◆ 奈良国道・木津川上流・国営飛鳥合同工事安全協議会 12月20日（金）13:30～ 奈良国道事務所 大会議室
- ◆ 紀の統・紀伊山系・大和川合同工事安全協議会 12月23日（月）13:10～ 柏原市民文化会館